



日々に伸びよう

令和 4 年度
学校だより No. 4
11月より新HPに→



◇◆◇◆ 2学期も折り返し ◇◆◇◆

暑かった8月 29 日に始まった2学期も、気がつけばもう折り返しの時期を過ぎています。季節もすっかり秋になり、衣替えの時期を過ぎました。11 月には、児童が楽しみにしている学校行事（修学旅行や遠足）があります。学習面でも生活面でも実りの多い秋になるよう、充実した日々を過ごしてほしいと思っています。

柳生基金について

「柳生基金」とは、平成6年に、松茂町豊岡の故人 柳生 隆さんのご遺族からの寄付により設立され、交通安全思想を啓蒙するための基金です。主として交通遺児奨学金と小・中学校への交通安全教育資金として給付していただいています。本年度の交通安全教育資金は、喜来幼稚園・小学校に給付の順番となっていました。そこで、夏休みの終わりに下の写真の通り、通学路での徐行をお願いするフェンスサインと、交通安全指導用の自転車一式を購入・設置しました。自転車は、11月9日に予定している交通安全教室（4年生）から使っていきます。寄付をしてくださった柳生さんご家族の願いのように、児童が交通事故にあわないよう、これからも指導していきたいと思っています。ご家庭でもご指導をお願いします。



幼稚園前



ローソン付近通学路



交通安全指導用自転車一式

STEAM教育

松茂町では、昨年度より STEAM 教育に取り組んでいます。町内の各幼稚園・小学校・中学校やマツシゲートで様々な取り組みをしています。

まず、喜来小学校では、タブレットを使ったプログラミング学習や総合的な学習を中心に「協働する力」「伝え合う力」等を身に付けるための学習などに取り組んでいます。先日もドローンを使って目的地までルートを試行錯誤するプログラミングの授業を、児童が楽しそうにやっていました。

マツシゲートでは、昨年度から「STEAM 学び隊」といって、鳴門教育大学の先生方を講師に（本年度は年間10回程度）、小・中学生を対象に、様々な分野の勉強会をおこなっています。更に、9月末からは、東京の企業と児童のタブレットをつないでの「デジタル部活」の取り組みも始まりしました。

携帯電話が普及し始めて、まだ30年。しかし、この30年で社会は大きく変化しました。今の児童が大人として過ごす時期には、さらに「超スマート時代」も進みます。松茂町はその変化に対応できる子どもたちの育成に取り組んでいます。



令和5年度 徳島県小学校家庭科教育研究大会 を開催します。

令和5年 11月（予定）、「徳島県小学校家庭科教育研究大会」を、本校で開催することになっています。その大会に向けて、今年度は10月20日に、板野郡の先生方に、5年1組が授業を公開してくれました。

家庭科といえば、調理や裁縫、お掃除をイメージすると思いますが、現在の学習指導要領では、「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」という領域に分かれており、これから巣立っていく児童が、生涯にわたって生活していくために必要な学習であることがよくわかります。今後も研究を進めるにあたり、保護者の皆様に多方面で協力をお願いすることもあると思います。ご理解・ご支援いただけますよう、お願いいたします。

◇◆◇ 喜来小ギャラリー ◇◆◇



9月に、6年生が総合的な学習で、近隣の事業所にお世話になり、職場体験をさせていただきました。



9月28日 鳴門ポカリスエットスタジアムで、板野郡陸上運動記録会がありました。参加標準記録を突破した5・6年生、17名が出場しました。またこの記録会で上位の成績であった9名が郡代表として、10月22日の県陸上運動記録会に出場し、2名が見事入賞することができました。



ひまたん学級が、マルシェに向け作品作りをしました。今年は11月6日の”マツシゲート学園祭”で販売することになっています。どんな商品になったか、どうぞ期待！！

10月28日 2年生が学校園で育てていたさつまいもを掘り、収穫しました。小さな花壇ですが、コンテナ2杯ほどのさつまいもを採ることができました。

10月28日 松茂学校運営協議会主催のゆめミライ塾がありました。今回の先生は、空手家の前川憲司さんです。5・6年生に「本当の強さ」「夢や目標をもつことの大切さ」について教えていただきました。